

柔 道

(種目担当校：宮崎大学)

1 期 日 令和7年11月30日(日)

2 開催時間 開場 午前8時30分
審判・監督会議 午前9時30分
試合開始 午前10時00分
試合終了予定 午後15時30分

3 会 場 早水公園体育文化センター 武道場(宮崎県都城市早水町3867番地)

4 競技規則

(1) チーム編成

- ① 各大学1チームとし、登録選手は12名以内、このうち7名をもって試合を行う。
- ② 九体協加盟校である2以上の大学が統合した場合、統合後も同一大学から別々の団体として出場できるものとする。

(2) 試合方法

- ① 各チーム7点の点取りトーナメント戦で行い、各試合の選手配列は自由とする。
- ② 前回大会ベスト4をシード校とする。
- ③ 試合時間は4分間とする。

(3) 審判規定

- ① (公財)全日本柔道連盟の定める国際柔道連盟試合審判規定を準用する。
- ② 判定基準は、「技あり」以上、または「反則負け」とする。
- ③ 試合時間は男子4分間とする。
- ④ 勝敗の決定は、勝者の多い方を勝ちとする。また、勝者同数の場合は、内容差で決定する。
- ⑤ 前述の全てにおいて同一の場合は、次のとおりとする。
各大学1名の代表選手を選出し、4分間の代表戦を行う。
4分間で勝敗が決しない場合は、ゴールデンスコアにより勝敗を決する。

(4) 柔道衣

(公財)全日本柔道連盟柔道衣規定に合格した柔道衣(白色)を着用する。

(5) 紅白帯

紅白帯は出場する人数分を各大学が準備する。

5 表 彰 第3位までとする。（3位決定戦を実施する）
1位 優勝カップ・賞状・メダル
2位、3位 賞状・メダル
尚、登録選手以外の学生マネージャー・学生トレーナー・学生コーチ等（3名以内）にもメダルを授与する。

6 組 合 せ 競技担当校が責任をもって行う。

7 選 手 変 更 申込後、変更が生じた場合は試合当日の午前8時45分から9時15分までに、所定の「選手変更届」を大会事務局へ届けること。その際、選手変更は2名を限度とする。

8 そ の 他

（1）脳震盪の対応について

- ① 大会前1ヵ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）
- ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- ④ 当該選手の指導者は、大会事務局に対し、書面により事故報告書を提出すること。

（2）皮膚真菌症について

皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

（3）貴重品・荷物はチームで責任を持って管理し、ゴミは持ち帰ること。